

施策分析シート（平成26年度）

No1

施策名	総合的な情報システムの確立		施策No	15-06		部課名	管理部情報システム課	
						課長名	坂野	内線 2150
関連部課名	全庁各部							
行政評価事業体系	分野	計画推進のために						
	政策	15	目標の設定と管理による行財政運営の戦略的推進					
目的	住民記録、税、福祉等の基幹システム、財務、文書等の情報系システムを適正に管理運用し、事務の効率化を図るとともに、庁内のインフラ基盤を整備する。また、施設予約、コンビニ交付等の利用を促進し、区民サービスの向上を図る。							
指	幸福実感指標名	指標の推移			指標に関する質問文			
		23年度	24年度	25年度				
標	施策の成果とする指標名	指標の推移				指標に関する説明		
		23年度	24年度	25年度	26年度 見込み			
	基幹システムの稼働率	1	1	1	1	1	基幹システムの年間稼働率	
	不正アクセス、ウイルス等による障害発生件数（件）	0	0	0	0	0		
	行政手続等のオンライン利用率	0.739	0.744	0.746	0.75	0.8	電子自治体ワイド利用促進指針（総務省）のオンライン利用率	
現状と課題（指標分析）	<ul style="list-style-type: none"> ・区の情報システムの中核をなす基幹システムの再構築について、平成27年1月の稼働に向けて着実にスケジュール管理する必要がある。また、導入が予定されている社会保障・税番号制度について、全庁的にシステム改修をする必要がある。 ・全庁のシステム経費が高止まりの傾向にある中、情報システム全般についてより効率的・効果的な形に再構築を図る必要がある。 ・有事の際の業務継続の基盤となる情報システムの安全性をより向上させるとともに、災害やサイバー攻撃等の脅威から区の情報資産を適切に守る必要がある。 							
今後の方向性	<p>《今までの成果及び指標分析を踏まえて》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区の情報システムの中核をなす基幹システムについて、平成27年1月の稼働に向けて着実に再構築作業を実施し安定稼働を図る。社会保障・税番号制度について、全てのシステムの改修計画を立てて円滑な導入を図る。 ・システム評価を実施することで、全庁的なシステム調達の方法を見直し、必要に応じて機器統合を図るなど、全体最適の観点から再構築を進め、システム運営経費の縮減を図る。 ・情報システムの物理面、技術面、運用面における耐災害性及び耐障害性の強化・充実を図り、職員に対しては、継続的な研修を実施することでセキュリティ意識の向上を図る。 							

施策の分類		分類についての説明・意見等
26年度	27年度	
推進	推進	セキュリティや業務継続性の確保に万全を期しつつ、時代に即応したシステムへ再構築を図ることにより、区民サービスの向上や事務の効率化等に資する。

施策を構成する事務事業の分類						
事務事業名	事務事業 No	決算額（千円）		施策推進のための分類		分類についての説明・意見等
		24年度	25年度	26年度	27年度	
業務系システム運用管理	02-04-01	476,849	434,292	推進	推進	社会保障・税番号制度の対応を推進するとともに、基幹業務システムの安定稼働を維持し、区民サービスの向上や事務の効率化に資する。
情報系システム運用管理	02-04-02	118,869	217,388	推進	推進	全体最適の視点から、複数のシステムでハードウェアを共有化する共通基盤を構築し、システム運営経費の縮減を図るとともに新地方公会計システムの構築やデータ整備を推進する。
システム設置設備管理	02-04-03	53,412	51,396	継続	継続	区の保有する情報資産を守り、システムの安定稼働を図るため、引き続き適正に運用していく。
ネットワーク管理	02-04-04	81,667	31,646	継続	継続	業務継続性やセキュリティの向上の観点から庁内LAN全体の耐障害性の向上を図るとともに、マイナンバー制度に対応したネットワークを整備する。
OA機器管理	02-04-05	140,069	103,648	継続	継続	OA機器は事務の実施に必要不可欠なものであるため、各パソコンの情報セキュリティ対策を十分に行うとともに、適正な配置を行う。
電子自治体推進	02-04-06	13,515	14,139	推進	継続	区民サービスの向上及び内部事務の効率化を図るため、より一層の利用を図る。
合 計		884,381	852,509			